

第 1 1 回各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和 4 年 3 月 9 日（水）午前 9 時～
 場 所 各務原市役所 産業文化センター 2 階第 3 会議室
 出席委員 鈴木壯委員長、三井栄副委員長、横山浩之委員、三村武俊委員、
 川上進委員、小澤次郎委員、田中峰生委員、今尾謙二委員、
 永田美帆委員、苅谷道宏委員

1. 委員長挨拶
2. 議事
 - ①施設計画の修正確認について
 - ②事業手法について
 - ③現総合体育館の取り扱いについて
 - ④周辺道路への交通影響について

議事録（要旨）

議事 ①施設計画修正確認について

資料 1 施設計画

委員長説明	
・施設計画について、前回の委員会からの修正箇所を説明した。	
主な意見及び質疑応答	
全員	意見なし。
委員長	修正箇所について特に意見はないということで、施設計画についてはこのとおり取りまとめる。

議事 ②事業手法について

資料 2 事業手法等の検討

事務局説明	
・新総合体育館、総合運動防災公園の整備に関する事業手法について、比較検討した結果を説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員	設計から管理運営まで一体型で取り組む PFI（BT0）手法や DB0 手法が良いと考える。視察を通じて官民連携で実施することが良いと感じた。
委員	従来方式で市だけで進めると、施設のサービスの点で劣ることが想定される。事業手法の定性的評価結果の表より、市民サービスの向上の評価が高い PFI 手法や DB0 手法が良いと考える。
委員	視察を通じて、PFI 手法による体育館整備の事例が増えていると感じた。今までの現総合体育館の運営が悪いわけではないが、みるスポーツ

	を実現しようと思うと、民間の力が必要になると考える。体育館の事業手法についてはいろいろな角度から考えていきたい。民間による教室プログラムの積極的な実施など、個人的には PFI 手法が良いが、もう少し検討の余地があると考えられる。
委員	人が寄ってくるような施設をつくるべきである。将来的なことを考えると、民間活力を導入することで施設の生産性の向上が図れると考えられる。 事業手法についても、偏りがないようにあらゆる角度から検討していきたい。また、市民が使いやすい施設とすることを考えつつ、民間の力を取り入れた生産性の向上が図れる施設になると良い。
委員	視察を通じて、運営管理者が設計の段階から携わっている方が、その後の施設の管理がしやすそうだと感じた。PFI（BT0）手法または DB0 手法が良いと考える。
委員	事業手法については、いずれもメリットとデメリットがあると思うが、PFI 手法については、性能規定により仕上がりが見え外となる可能性があることが気になる。
委員	事例視察先の一覧を見て、最近の施設でも従来型は多いと感じた。 新総合体育館については、貸館機能だけとなつてはいけなと考える。 市民が集う賑わいがある場所・みんなが集まって体を動かせる場所にしたい。今後の運営を見越して、民間の力で一体的に整備できる手法が良いと考える。
委員	視察先では外観が良い施設があつたが、過剰に感じる場所もあった。 PFI（BT0）手法では、性能規定により仕上がりが見え外となることがあると聞いたが、性能規定を細かく指定することはできないか。また、民間活力を導入することでコストの削減に繋がると考える。
副委員長	各手法についてメリット・デメリットがある中で、私たちは視察に行っているのて感覚的に民間活力を活用することが良いと考えるが、市民の人は理解が難しい部分があると想定される。視察に行っていない市民の人にも明確に理解いただける資料を作成すべきである。また、どの手法を用いることが良いかについて、本委員会の意見だけでまとめるのではなく、市民の人からも意見をいただく形が良いと考える。
委員長	市民の意見を聞きながら今後検討していくことが重要である。 本委員会においては、民間活力を導入する方向を検討するということてまとめたい。
事務局	委員の皆様からのご意見を踏まえ、民間活力の導入を考えつつ、市民の皆様に対して分かりやすい説明ができるよう、今後の市民説明会やパブリックコメントに向けて準備していく。

議事 ③現総合体育館の取り扱いについて

資料3 現総合体育館の取り扱いについて

事務局説明	
・現総合体育館の取り扱いについて、昨年度実施した市民アンケートの結果及び関連する第3回策定委員会の議事概要の抜粋を説明し、昨年度の議論の振り返りを行った。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	昨年度出た意見は、大きく分けると、「2つの施設を維持していくことは費用面から難しい」という意見、「施設の取り合いが激しいので、新総合体育館ができて、現総合体育館がなくなってしまうと、また取り合いになるのではないかという不安がある」という意見があり、最終的には、「今の時点では判断が難しい」ということとなった。 昨年度から新総合体育館の検討も進んでいるが、委員の皆様のご意見を改めて伺いたい。
委員	スポーツをする人の立場で考えると、新総合体育館は市民優先で予約を確保していくことが想定されるため、現総合体育館を廃止してしまうと、県大会などの大規模大会は開催できないことが考えられる。また、協会に入っていない小規模な団体や個人は、土日に体育館が使用できないことが想定される。現時点でもあまり使用できていない状態である。 現段階で方針を決定することは難しいため、新総合体育館を整備してから数年程度様子を見てはどうか。いろいろな団体の意見を聞いて方針を決めるべきである。
委員	現総合体育館は練習拠点として使用できるため、新総合体育館が整備されてから方針を検討すれば良いと考える。
委員	現総合体育館の状況をみると、老朽化の進行が激しいと感じる。地元では東亜町会館を廃止する話が出ており、ミーティングする場所がなくなることに対して反対運動が起こりそうな雰囲気もある。今すぐ結論を出すのは難しいため、新総合体育館の整備後の状況を共有しながらじっくり考えたい。
委員	視察先で、新しい体育館を整備したらスポーツ需要が喚起されたため、解体予定だった古い体育館を結局残した事例があったが、将来的には、現総合体育館を補強して現在の規模で残すのは良くないと思う。 現総合体育館は平日でも卓球等で高齢者によく利用されている。施設を使い続けるのであれば、規模を縮小して福祉施設等も併用できるものに建て替えるべきであると思う。
委員長	現時点でこの策定委員会で結論を出すことは困難であると考えられるため、今後、別の組織で検討してもらう課題とさせていただきたい。

議事 ④周辺道路への交通影響について

資料4 イベント開催時の周辺道路への交通影響検討

事務局説明	
・施設の整備に伴い周辺道路に与える交通影響について、分析を行うにあたっての考え方、前提条件と簡易的な検討を行った結果を説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員	イベント時の対応として、運営側と相談して駐車場に交通整理員を配置することや看板を配置することが考えられる。イベントの開催は年に数回であり、実際には混む前に早めに帰る人もいるため、対策ができれば渋滞についてはそれほど問題とはならないと考える。
委員長	交通影響の分析結果については、資料のとおりとしたい。

3. その他

(事務局) 次回の委員会については、5/11(水) 9時から産業文化センター7階の7-1会議室にて実施する予定である。